

平成22年3月期 決算説明会資料

平成22年5月11日

株式会社ユビキタス

© 2010 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Agenda

- 平成22年3月期の概況
- 業績の概要
 - 経営成績
 - 財政状態
 - キャッシュフロー
- 分野別動向
- 平成23年3月期業績予想

平成22年3月期の概況

過去最高の売上高・営業利益・経常利益

- 売上高は、大幅増収で初めて10億円を突破
- 営業利益と経常利益は、平成19年3月期の過去最高益を更新
- 純利益は、期初予想140百万円を大きく上回る183百万円

分野別概況

- ゲーム分野は、予想を上回って過去最高の売上高
- ネットワーク分野は、デジタル家電関連案件が好調
- データベース分野は、年初予想を上回る

その他

- QuickBootの開発成功とSDK発売開始

平成22年3月期

業績の概要

経営成績

損益計算書：業績予想との比較

	22/3 (実績)	22/3 (予想)	
売上高	1,159	1,080	+79百万円 (107.4%)
営業利益	463	400	+63百万円 (115.8%)
経常利益	470	408	+62百万円 (115.4%)
当期純利益	183	150	+33百万円 (122.4%)

上方修正した値を全て超過

経営成績

第3四半期からの進捗

(百万円)

	平成22年3月期	平成22年3月期 第3四半期累計期間	増減額
売上高	1,159	824	335
売上原価	225	143	82
売上総利益	933	680	253
販売費及び一般管理費	470	322	148
営業利益	463	357	105
経常利益	470	364	106
税引前当期純利益	315	208	107
法人税等	132	85	46
当期純利益	183	122	60

経営成績

損益計算書：前期との比較

	22/3 (実績)	21/3 (実績)	
売上高	1,159	945	+214百万円 (+22.6%)
営業利益	463	373	+90百万円 (+23.9%)
経常利益	470	298	+172百万円 (+57.7%)
当期純利益	183	105	+78百万円 (+74.3%)

前期比で大幅増収・増益を達成

売上高の内訳：形態別

前期比較

	平成22年3月期 (百万円)	構成比 (%)	平成21年3月期 (百万円)	構成比 (%)
使用許諾	944	81.4	802	84.9
サポート	92	8.0	64	6.9
受託開発	122	10.5	78	8.2
売上高合計	1,159	100.0	945	100.0

売上高の内訳：分野別

前期比較

	平成22年3月期 (百万円)	構成比 (%)	平成21年3月期 (百万円)	構成比 (%)
ゲーム	796	68.6	710	75.1
ネットワーク	217	18.8	146	15.5
データベース	145	12.6	88	9.4
売上高合計	1,159	100.0	945	100.0

財政状態

貸借対照表：資産の部

	平成22年3月31日 (当期末)	平成21年3月31日 (平成21年3月期末)	増減額
流動資産	1,417	729	687
現金及び預金	1,018	438	579
売掛金	345	270	74
その他	53	20	33
固定資産	657	994	△336
長期預金	300	600	△300
投資有価証券	—	126	△126
その他	357	267	90
資産合計	2,074	1,723	350

(百万円)

財政状態

貸借対照表：負債・純資産の部

(百万円)

	平成22年3月31日 (当期末)	平成21年3月31日 (平成21年3月期末)	増減額
(負債の部)			
流動負債	287	65	222
負債合計	287	65	222
(純資産の部)			
資本金	524	509	15
資本剰余金	494	479	15
利益剰余金	800	669	130
純資産合計	1,787	1,658	128
負債純資産合計	2,074	1,723	350

キャッシュフロー計算書

(百万円)

	営業CF	投資CF	財務CF	期中 増減額	期末 残高
平成22年 3月期	469	△430	△60	△20	418

平成22年3月期

分野別動向

収益基盤：3つの分野

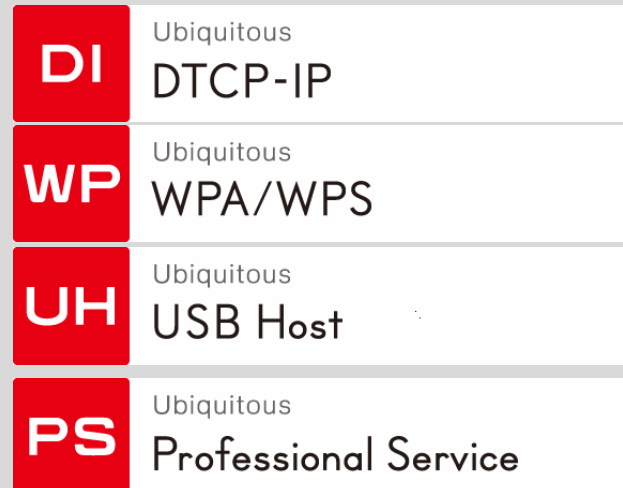
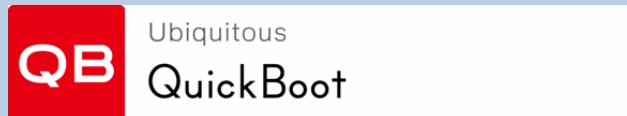
① ネットワーク・フレームワーク



② 組込データベース



③ 高速起動・省電力



ネットワーク・フレームワーク



当期概要

- 当社TCP/IPの世界出荷累計が1億5千万本突破
- 農水省認定事業完了
 - 東大実験農場にWLAN NOEベースのセンサモジュールを多数設置して実証実験
- 車載向け高速IP伝送の実証試作(ルネサステクノロジ殿と共同)

今後の展開

- Wi-FiモジュールへのWLAN NOE搭載に関して開発対応予定
- NFお試しキット、発売へ

組込データベース

The logo consists of the letters "DB" in white, bold, sans-serif font, centered within a solid red square.

当期概要

- デジカメへの採用拡大
 - オリンパス殿、パナソニック殿向けライセンス開始 (PR済)
- 開発は順調に進捗
 - DeviceSQL v4.1および4.2発売
 - DeviceSQL DataSyncを発売
- 無償セミナー開催 (2ヶ月毎)

今後の展開

- デジカメ分野の対応進化
- 開発は継続して注力
 - DeviceSQL v4.3発売予定

高速起動・省電力



当期概要

- 2つの狙い
 - ユーザ体験の改善（起動時間10+秒 → 1秒に短縮）
 - 待機電力削減（=電気料金低減、CO2排出削減）
- QuickBoot発売開始(3/23) - 本格的な収益寄与は平成24年3月期より
- イベント参加
 - CES (1月@Las Vegas)、CCBN (3月@北京)、Connected Home, Connected Life (3月@台北)

今後の展開

- ESEC2010(5月)、自社ブースにてデモ展示予定
- 最初の採用製品は年度内に登場予定
- 海外対応体制の強化

その他

DI

WP

UH

PS

当期概要

- デジタル家電分野の収益化が進む
 - レコーダ案件がロイヤルティ収益化
- USB製品のロイヤルティ収益が安定化
- ネットワーク録画に関する技術サポート継続

今後の展開

- 平成23年3月期より、テレビ向けコンテンツ保護製品(DTCP-IP)がロイヤルティ収益化
- STBのネットワーク対応での技術サポート継続、開発案件も

代表交代

平成22年4月1日より新体制発足

- 代表取締役社長 家高 朋之（いえたか ともゆき）
- 経営チームの若返り

新体制の狙い

- 経済危機に対応する段階から、一層の成長を目指す段階への移行
- イノベーションに基軸を置いた製品戦略
- 収益基盤の継続的拡大と非連続な成長

平成23年3月期 業績予想

平成23年3月期の取り組み

- 緩やかな成長を見込む
 - ゲームを含むネットワーク分野は、前期実績より控えめになることを想定
 - 組込データベース分野は、大幅収益増を目論む
 - 高速起動・省電力分野で若干の売上高を見込む
- 身の丈に合った積極投資
 - エンジニアを中心に増員
 - 各種製品拡販のため、広告宣伝費をほぼ倍増
 - 海外展開のための費用増加

業績予想

(百万円)

	22年3月期	23年3月期	成長率
売上高	1,159	1,210	+4.3%
営業利益	463	400	-13.7%
経常利益	470	400	-15.1%
当期純利益	183	240	30.8%



Ubiquitous

つ な ぐ の は ユ ビ キ タ ス